

財政収支(1-8月)

(1) 1-8月の歳入は前年同期比52.0%増、税収は同56.1%増。歳出は前年同期比42.8%増。
(2) 1-8月の財政収支は9,076.35億リラの赤字、プライマリーバランスは5,181.24億リラの黒字。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2024年1-8月(A)	2025年1-8月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	52,530.15	79,835.66	52.0%
税収	44,018.15	68,716.96	56.1%
所得税	8,758.41	16,924.54	93.2%
法人税	5,006.14	8,437.73	68.5%
付加価値税(国内及び輸入)	14,631.41	20,378.06	39.3%
特別消費税	8,717.17	12,137.71	39.2%
その他税収	6,905.02	10,838.92	57.0%
税外収入等	8,512.00	11,118.70	30.6%
歳出(b)	62,265.69	88,912.01	42.8%
人件費	17,615.32	23,729.59	34.7%
物品及びサービスの購入	3,862.12	5,766.08	49.3%
経常移転	24,077.52	33,506.94	39.2%
資本支出	4,485.96	6,598.25	47.1%
支払利子(c)	7,640.08	14,257.59	86.6%
その他歳出	4,584.69	5,053.56	10.2%
財政収支(a-b)	▲ 9,735.54	▲ 9,076.35	6.8%
基礎的財政収支(a-(b-c))	▲ 2,095.45	5,181.24	347.3%

経常収支(1-7月)

(1) 1-7月の経常収支は、212.24億ドルの赤字(前年同期は128.95億ドルの赤字)。
(2) 1-7月の貿易収支(物品)は416.95億ドルの赤字で前年同期から赤字幅拡大、旅行収支は250.57億ドルの黒字で前年同期から黒字幅は拡大。

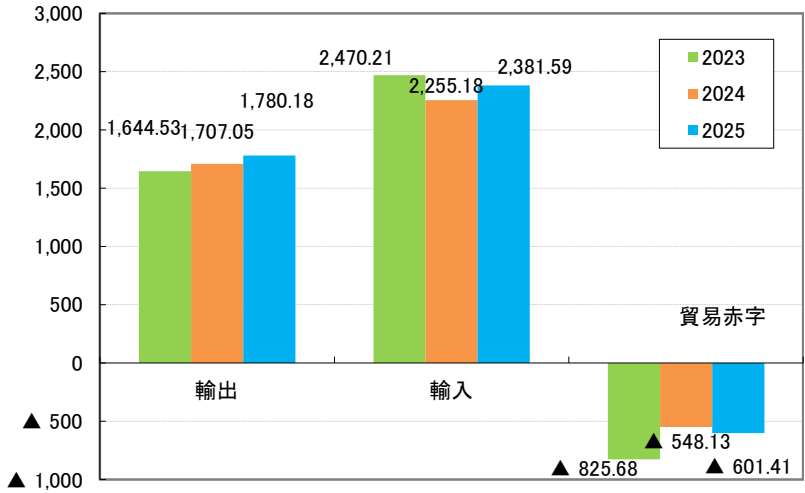
データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2024年1-7月(A)	2025年1-7月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 128.95	▲ 212.24	▲ 64.6%
貿易収支(物品)	▲ 350.37	▲ 416.95	▲ 19.0%
サービス収支	310.77	317.26	2.1%
旅行収支	247.31	250.57	1.3%
第1次所得収支	▲ 89.12	▲ 107.80	▲ 21.0%
第2次所得収支	▲ 0.23	▲ 4.75	▲ 1965.2%
労働者送金	0.58	0.39	▲ 32.8%
資本移転等収支	▲ 0.98	▲ 1.25	▲ 27.6%
金融収支	▲ 166.39	▲ 262.49	▲ 57.8%
直接投資	▲ 30.35	▲ 30.98	▲ 2.1%
証券投資	▲ 125.50	7.90	106.3%
その他投資	▲ 1.45	▲ 153.71	▲ 10500.7%
外貨準備	▲ 9.09	▲ 85.70	▲ 842.8%
誤差脱漏	▲ 36.46	▲ 49.00	▲ 34.4%

貿易収支(1-8月)

(1) 1-8月の輸出額は1,780.18億ドル(前年同期比4.3%増)、輸入額は2,381.59億ドル(同5.6%増)となり、この結果、貿易収支は601.4億ドルの赤字(同9.7%赤字幅拡大)。
(2) 1-8月の輸出額におけるEU向けの割合は43.1%(前年同期は41.7%)、輸入額におけるEUからの割合は31.8%(前年同期は32.1%)となっている。

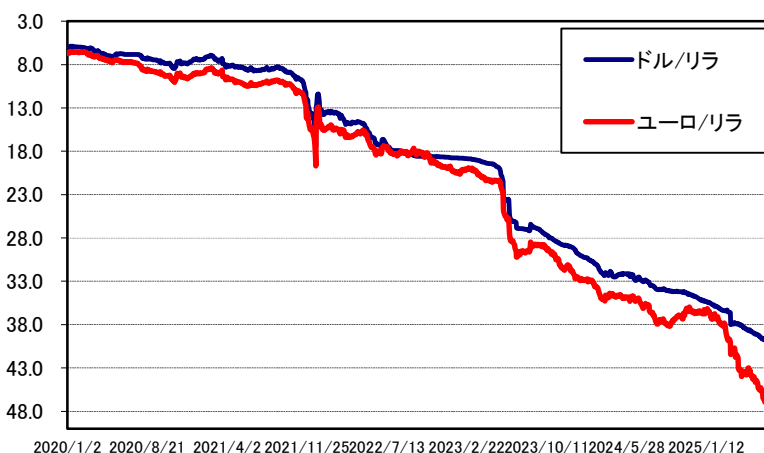
データ:統計局 単位:億ドル



為替(9月)

9月の為替相場は、中銀が市場予想通り利下げを行うなど、特段の材料は無く、対ドル・対ユーロ共に反応は限定的。月末時点では1ドル=41.51リラ(前月末比1.37%安)、1ユーロ=48.75リラ(前月末比2.02%安)となった。

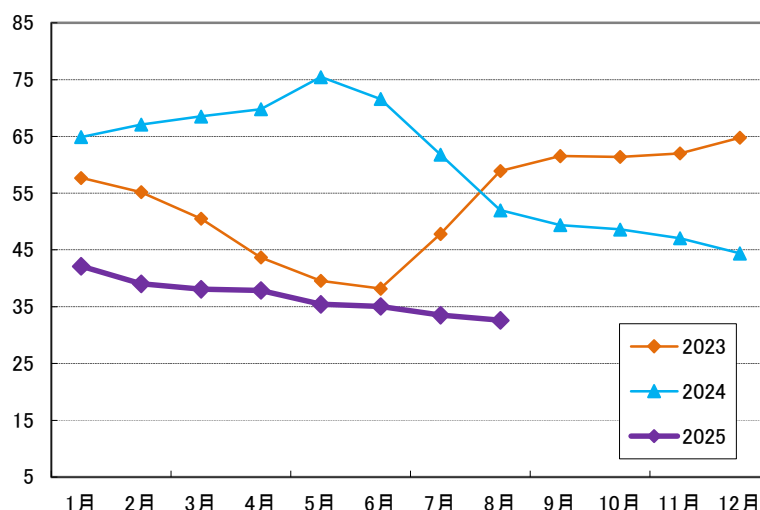
データ: 中央銀行 単位: リラ



消費者物価上昇率(8月)

- (1) 8月の消費者物価は前年同月比32.59%、前月比2.04%。
- (2) 項目別にみると、前年同月比では教育が60.91%となり最も上昇した。前月比ではアルコール飲料・たばこが6.04%となり最も上昇した。
- (3) 国内生産者物価指数(8月)は前年同月比25.16%増、前月比2.48%増となった。

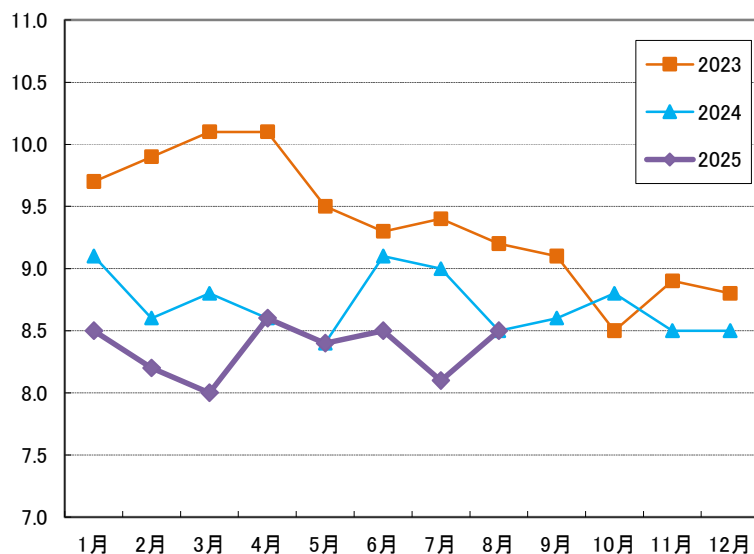
データ: 統計庁 単位: 前年同月比(%)



失業率(8月)

- (1) 8月の失業率(季節調整後)は8.5%となり、前月から0.4ポイント上昇。
- (2) 労働力人口は3,587.3万人、就労者数は3,282.9万人、失業者数は304.4万人。
- (3) 男性の失業率は6.8%、女性は11.6%。若年層(15-24歳)の失業率は16.0%となっている。

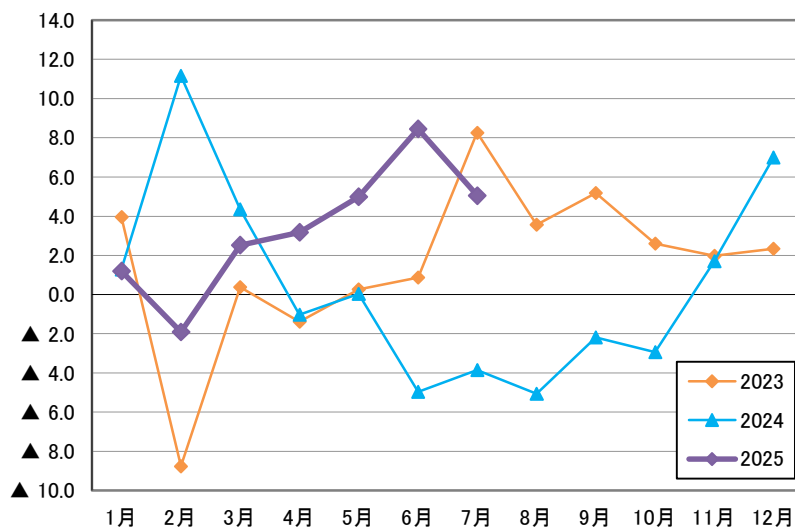
データ: 統計庁 単位: %



鉱工業生産(7月)

(1)7月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)5.0%増。
(2)分野別では、耐久消費財が前年同月比5.4%減、資本財が同20.1%増、中間財が同4.0%増となった。

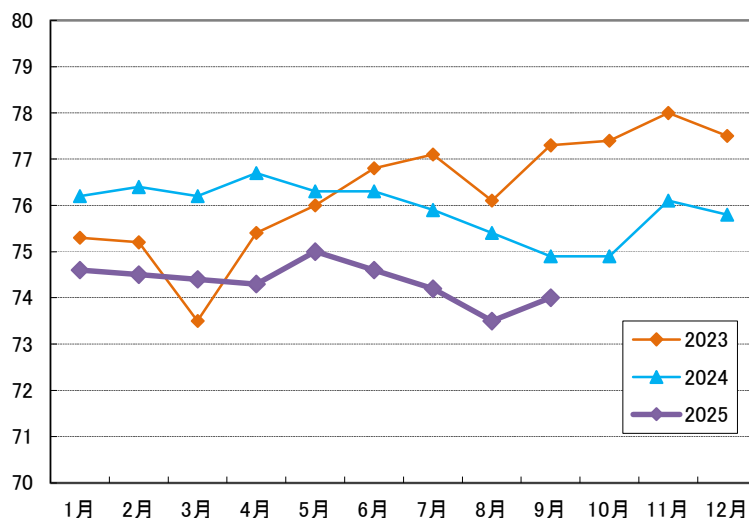
データ:中央銀行 単位:前年同月比(%)



設備稼働率(9月)

(1)9月の設備稼働率は74.0%となり、前月から0.5ポイント上昇、前年同月から0.9ポイント低下。
(2)製造業の分野別では、たばこ製造業(85.6%)が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品製造業(63.4%)が最も低い稼働率であった。

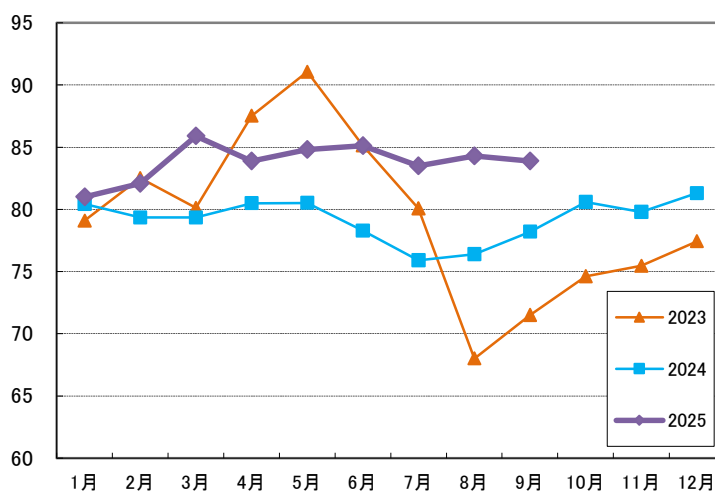
データ:中央銀行 単位:%



消費者信頼感指数(9月)

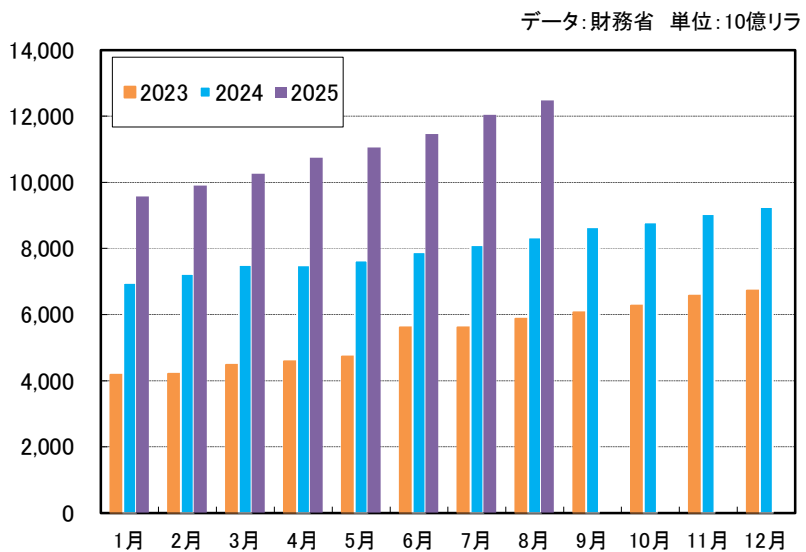
(1)9月の消費者信頼感指数(季節調整値)83.9ポイントとなり、前月から0.4ポイント低下。
(2)内訳では、「今後12か月間の家計の財政状況見通し」及び「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から上昇。「現在の家計の財政状況」及び「今後12か月間の一般経済状況見通し」は前月から低下。

データ:統計庁 単位:ポイント



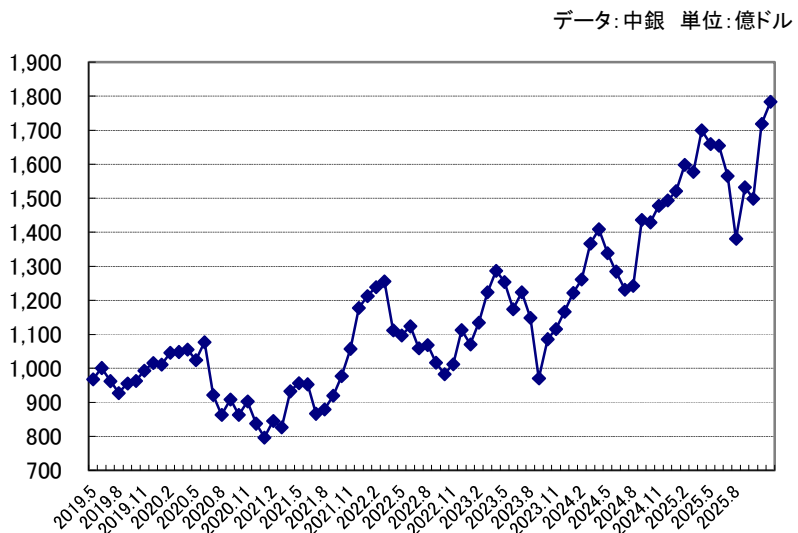
中央政府債務残高(8月)

(1)8月末時点での中央政府債務残高は12兆4,771億リラとなり、前年同月比49.6%増、前月比3.6%増となった。
 (2)また、国内債務比率は58.1%、自国通貨債務比率は46.9%(2024年末は43.9%)となっている。
 (3)なお、債務残高のうち円は0.4%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。



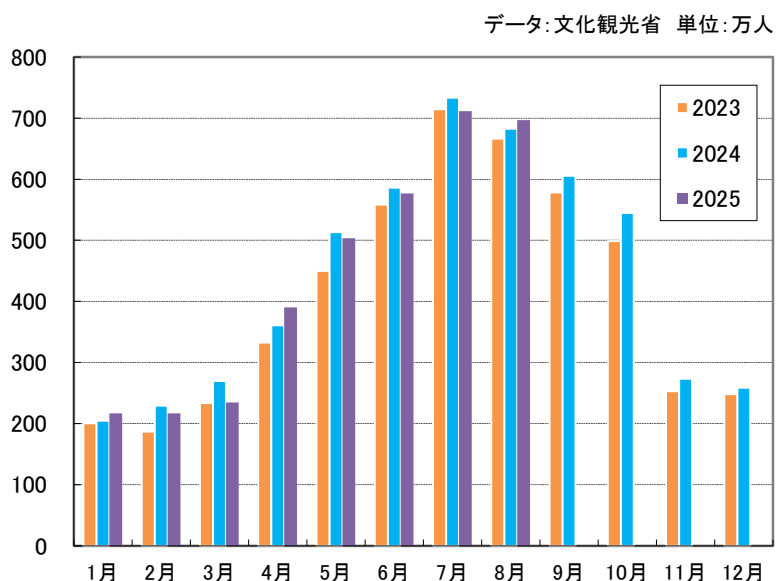
外貨準備高(8月)

(1)8月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,783.57億ドルとなった。
 (2)前月から65.10億ドル増加した。



外国人訪問者数(8月)

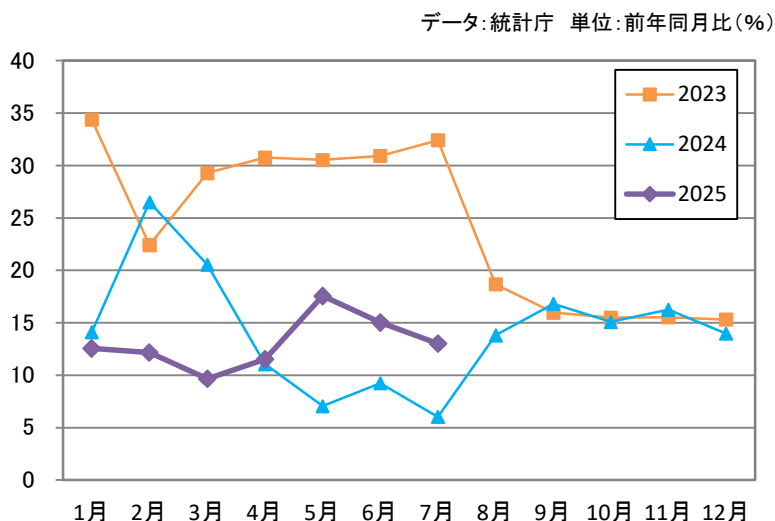
(1)8月の外国人訪問者数は6,965,343人で、前年同月比2.05%増。日本は17,540人であった(前年同月16,192人)。
 (2)国別ではロシアが最も多く、990,709人で全体の14.22%を占め、以下ドイツ(989,839人)、イギリス(638,937人)となっている。



小売売上高(7月)

(1)7月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)13.0%増、前月比(季節及び日数調整後)0.2%減。

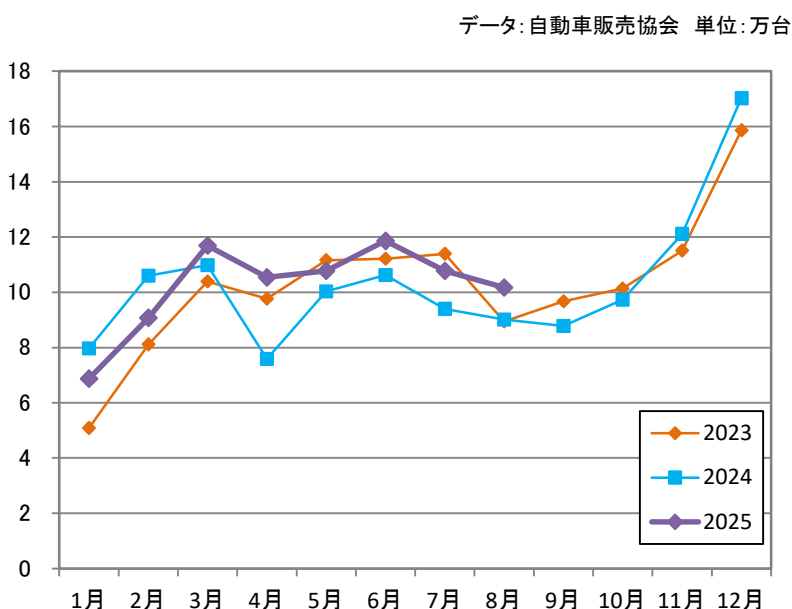
(2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比14.4%増、情報・通信機器が同23.5%増となった。



新車販売台数(8月)

(1)8月の新車販売台数は101,650台で前年同月比12.8%増。

(2)8月の内訳は乗用車が82,215台(前年同月比18.7%増)、小型商用車が19,435台(同6.8%減)となった。

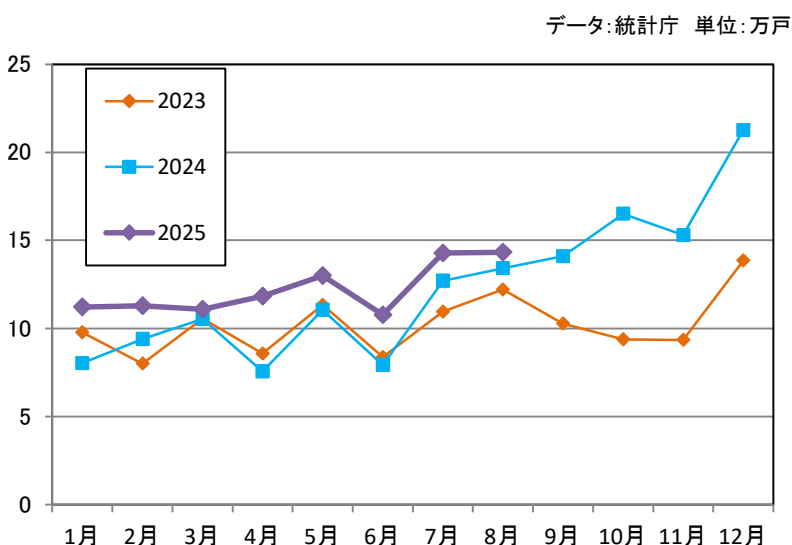


住宅販売戸数(8月)

(1)8月の住宅販売戸数は143,319戸で前年同月比6.8%増となった。

(2)8月は新築が43,916戸(前年同月比4.8%増)、中古が99,403戸(同7.8%増)。

(3)8月の住宅ローンでの購入は19,712戸(前年同月比45.2%増)、その他が123,607戸(同2.5%増)。



※本資料は、当館がトルコ政府発表資料を取り纏めた参考資料であり、当館がその正確性等を保証するものではありません。